

延世大学腎臓内科研修を終えて

研修医 楠部万莉

私が延世大学セブランス病院を選択した理由

韓国は日本に最も近い国。

文化や言語は似ているが、
どのような医療を行っているのだろうか。

セブランス病院は韓国の首都ソウルに位置し、
韓国でも有数の大病院。

延世大学セブランス病院

韓国でソウル大学病院に次ぐ大病院。

新村延世大学病院の病床数は約2000床。

癌センター、リハビリテーション病院、心臓血管病院、子供病院が隣接している。

その他江南にもグループ病院がある。





セブランス病院
癌センター

新村駅

癌センター



セブランス病院内は綺麗で
フードコート、カフェ、銀行等も充実しており
患者さんにとって過ごしやすい環境。



韓国の医師制度

1年間 インターン



4年間 レジデント

↓専門医取得(男性は2年間の兵役)

フェローシップ



今回私がお世話になった先生方はフェローの先生方でした。

セブランス病院の腎臓内科

腎臓内科の病床数は40床。

入院患者は4人のレジデントの先生が担当し、
毎朝夕教授、准教授回診。

外来透析患者は1日午前と午後で25人ずつ程。
(外来透析患者:フェロー 入院患者:レジデント)



1日のスケジュール

午前8時～レジデントの先生が准教授に入院患者をプレゼンし回診。

外来透析患者の回診。

腎生検、血管エコー、
慢性腎不全患者に対する講義の見学。

午後4時～朝と同様に回診。



慢性腎不全の定義

・急性腎不全

薬物中毒、出血、感染などの理由で急に腎機能が低下する状態。

大半は一時的な原因疾患によるもので治療すれば腎機能は回復する。

・慢性腎不全

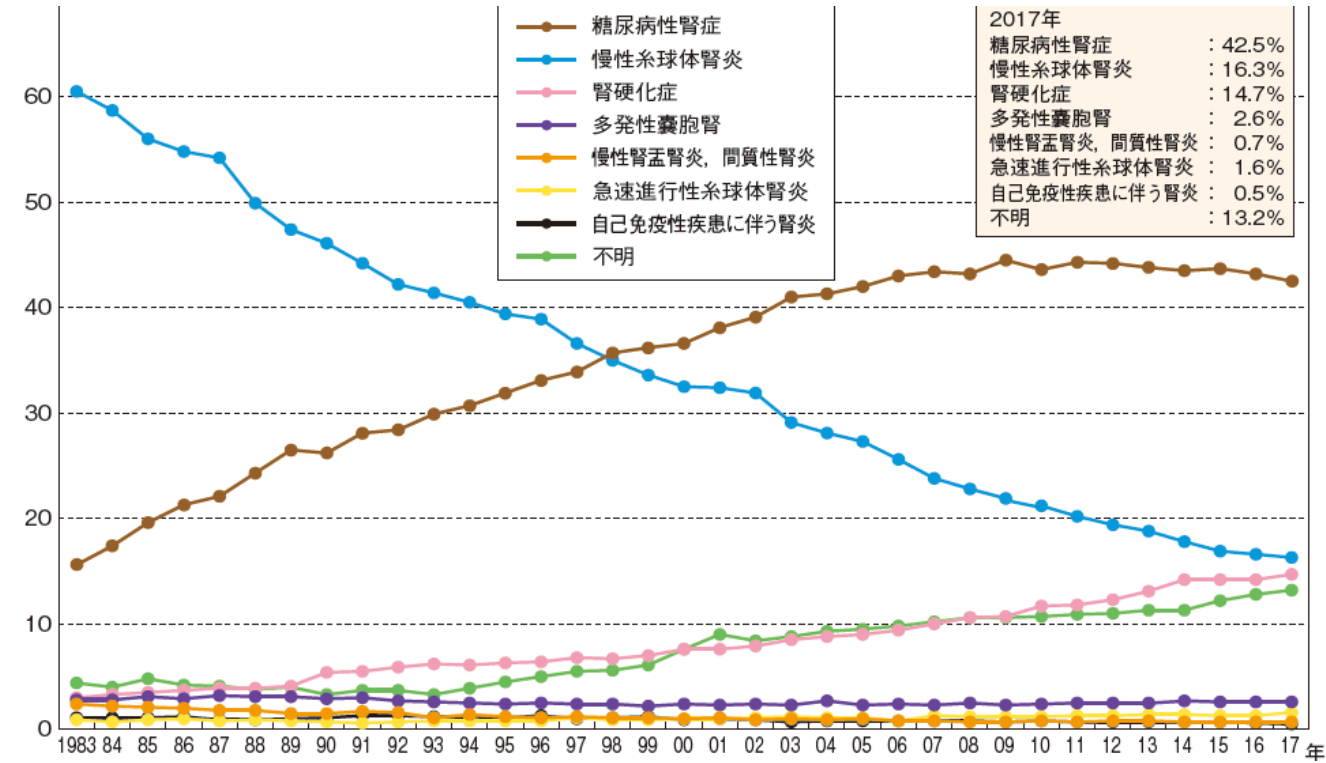
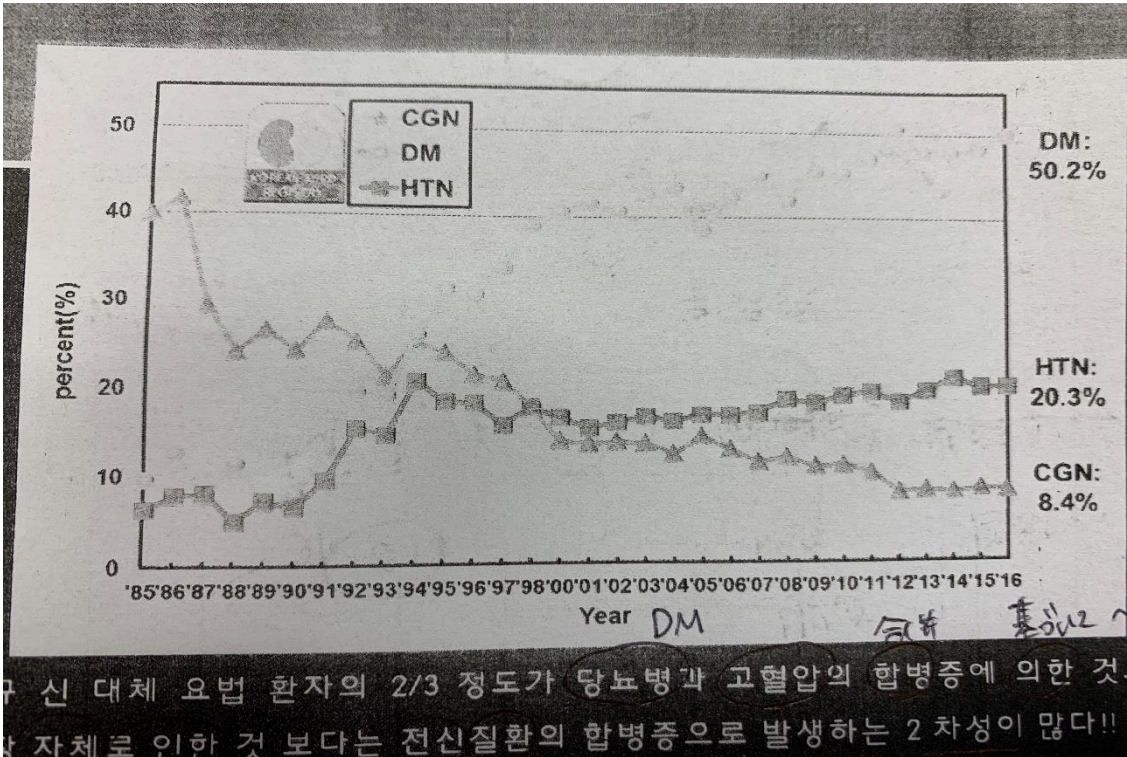
ネフロンの継続的な損失によって持続的に腎機能が障害され、腎機能が正常以下に低下すること。

不可逆的で、正常状態に戻ることはない。

慢性腎不全の主要原疾患

韓国

日本(透析導入患者2017年)



韓国での慢性腎不全の主要原疾患

第1位 糖尿病性腎症(50%)、第2位 腎硬化症(20%)、第3位 慢性糸球体腎炎(8%)。

慢性腎不全の進行

腎機能減少段階

腎機能約50%程度 特別な症状はない



腎機能不足段階

腎機能約20-25%



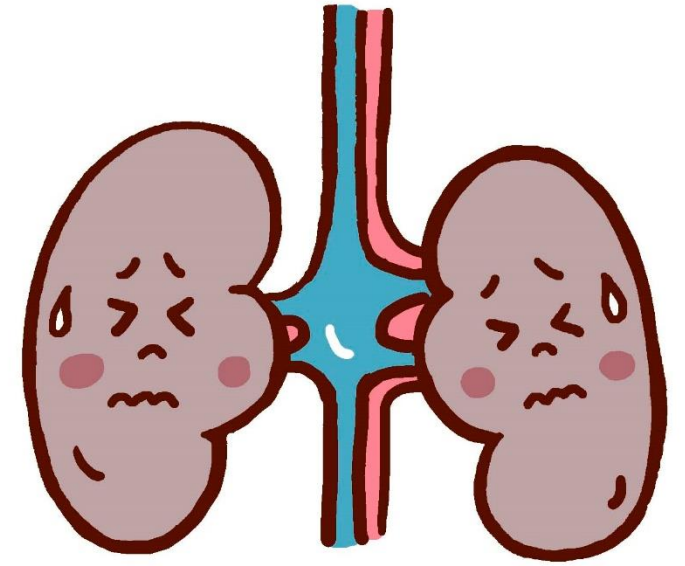
尿毒症段階

腎機能(GFR) 10ml/min以下 末期腎不全 代替療法が必要



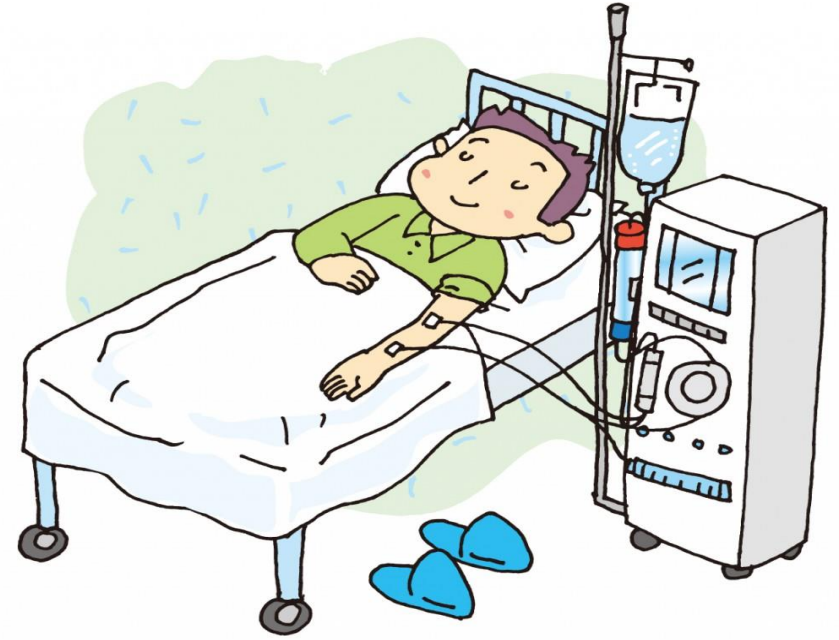
①透析(血液透析、腹膜透析)

②腎移植



透析を考慮する時点

一般的に透析を開始する時期：
糸球体濾過量 10ml/min 以下



- ・患者の生化学的な検査結果、症状、徴候を統合して透析を決定する。
- ・尿毒症になるすぐ前や直後に透析開始

慢性腎不全の治療管理

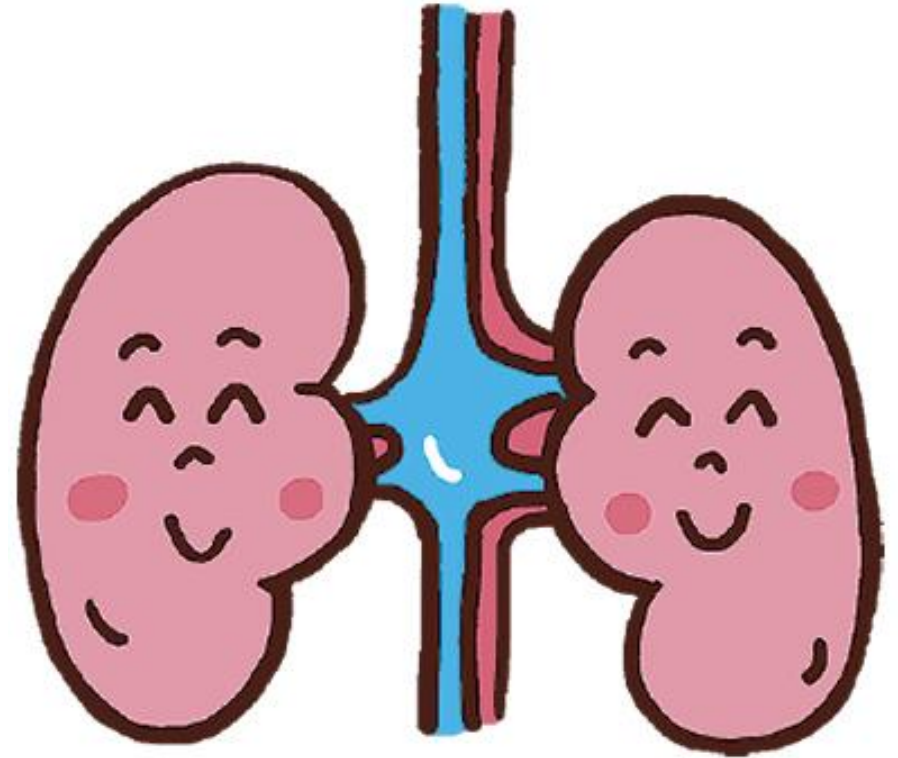
①投薬

②定期的な血液検査

③食事療法

食事療法

- ・水分摂取を調節する。
- ・タンパク質摂取制限する。
- ・カロリーを十分に摂取する。
- ・塩分摂取制限。
- ・カリウム摂取調節。
- ・カルシウムとリンの摂取調節。
- ・ビタミン不足を予防。



水分調節

・症状によって水分調節

尿量減少



体内の水分を排泄不可能



体重増加及び浮腫



高血圧



浮腫及び乏尿(尿量 500ml以下/日)
→摂取水分量=前日の尿量+500-700ml

尿量 1L 以上/日
→水分制限不要

ソウル



チキン



景福宮



カフェ



コプチャン



星広場図書館(COEX)



全州(チョンジュ)



マッコリ



プチフランス

韓屋村



ビビンパ



タッカルビ

春川(チュンチョン)

ご清聴ありがとうございました。